

日本動物学会近畿支部 2023年 春季公開講演会

甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所 公開講演会

【主催】日本動物学会近畿支部・甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所

【共催】甲南大学理工学部・自然科学研究科

魚を用いて動物の発生のしくみを探る

- かたち作りからゲノム、エピゲノムまで



講演者 武田 洋幸
京都産業大学生命科学部 教授

【講演者紹介】

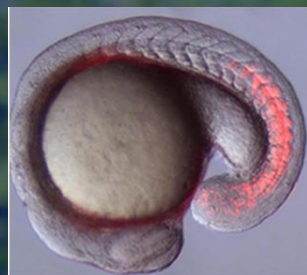
国立遺伝学研究所教授を経て2001年から2023年まで東京大学大学院理学系研究科教授。2023年4月より現職。

1991年に日本で初めてゼブラフィッシュを用いた実験を始めた。最初に観察したゼブラフィッシュ胚の美しさに魅せられ、以来30年以上の付き合い。2000年にはメダカもゲノム解析のモデル生物として導入した。2008年日本動物学会賞、2015年比較腫瘍学常陸宮賞 受賞

会場：甲南大学7号館1階 SaLaCo-Center
(神戸市東灘区本山町岡本1200-2)

日時：2023年5月20日(土) 15時～16時
(受付 14:30より)

入場無料



問い合わせ先

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
甲南大学理工学部生物学科・日下部岳広
078-435-2511 tgk@konan-u.ac.jp